





※人類の大開花するイメージ3

そして、あなたのすべてが大開花される！

未来が変わる、ヒトが変わる—

大宇宙から与えられた数年にわたるメッセージより

あたらな精神時代が到来する大変革の全貌を

本格的かつ著者自身が懸命に追いかけながら

克明に集約したリーディングエッセイ。

 **新しいころの時代を大開花させる！**



智慧という名の世界がはじまる

正しいメディアのあり方はそのたましいの姿にあるんです

どれだけ美しいイメージを持てているかそれが真実です

そしてその真理ひとつを人に伝えることも、容易ではない。

私の意見も意見である以上、批判されることも当然ある。

でもなぜ私が私を信じるか、それは自分が生きねばならない人生だから。

与えられた人生である以上はそれ以上の理由はありません。

見たままをお話しする以外ないんです。誰しもそうでしょう？

だからこそにやるしかないし言うしかないんです。けれどもだからこそに、

他人にはけして「こうしなければいけない、それ以外はダメ。」などと

その際産まれた何かを押し付けたくはないのね。

あくまで客観的な宇宙が生まれたときからあった事実。それが真理です。

山が山です。川が川です。ありのままを話すことが真理。

それがすべてです。

でもその真理も思いやりを持って話したほうがいいと考えてます。

たとえば引きこもりの子供さんをもつ親御さんに

「あなたの息子はダメだよ」とズケツといいません。ただ

「本来本人が正しく生きてゆけるようにこういう方法もあるのではないか。」と
ちゃんと理論的に伝えてゆけるようにする。

お子さんたちにも「キミねえ、○○だよ」と上から目線で話すと
心を閉ざすんですよ。そういう子供たちほど。

「お前はぜんぜんわかってない。」も禁句。

それよりも「どうしたんだい、なんでもいいからはなしてごらん」

とやさしく言われたほうが、

「あ、この人は理解してくれたのかもしれない」と心を開く。

そして誰かの書籍などを見ても、そのすべてが正しいとは思わない。

やはり人間だし、わたしもそうで未熟さや欠点はあるかもしれませんが、けれども、

「それが人間だ」とかいつてノスタルジーに入ってしまったら、執筆したくない。

そんなものよりも答えだけが欲しい

人間はそれぞれ違うから素晴らしいと思うし、死ぬまでちゃんと生きて

レベルを上げて自分の点数稼ぎをしてそれが人の役に立ってさえいればいい。

と思うことにすればいろいろ楽になりますよ。

有名な人間の言葉も学ぶべきところはすべて受け入れるし、違えば違う。

と容赦なく思っても問題ないと思います。

自分の心に対しても、「なぜそうおもったか」

「いま自分は何をしたいのか」をちゃんと問いただせることが

出来るようになれば、悩みはきえていきます。自分は自分を演じるしかない。

自分という役者を演じる。自分という舞台に降り立ったからには

正しく息を吸って吐く。働く、休む、自分が自分でいること

結局最後に自分が伸びてればすべてはオツケーだと思うので。

六十億人の思想は、きっと六十億の本や知識になるでしょう。

いちばんたいせつなことは、それくらい知識や影響力がある世界で、

どれだけ流されないか、自分の本質、自分の真実を洗い出せて信じられるか。

ということだけにかかっている。これは何億冊の本を読むよりも価値がある

ただひとつのこたえよ。

書店でもいろいろな評論があるがだれかの作家などの言葉に流される必要はどこにもないと思うんです。それらを抜粋して評価できるところをろ過して自分の辞書に入れればいい。そうして智慧(ちえ)は完成してゆくのです。もういちどあなたの本質に立ち返ってみましょう。智慧を会得してください。この本も最後はそういう気持ちで見たい。

“あなたの自由さのために執筆しました。”ただの知識じゃないんです。最後にはあなたがあなた自身になるための方便や、

パイプ役として機能してくればもうそれ以上の私としての至福はありませんよ。あなたがあなたらしさを確立してくればそれがすべてになります。

これからは人々が圧倒的個性を発動して、

みんながパワフルに動き出すことにより多様性がはじまる



たましいとは新世代の“メデイア”なんです

アカシック場（潜在意識）から私たちはそのパワーをもらっています

これからはこの時代の時代、なんですよ。ほっとするとか、感動するとか。意識はお金じゃない。そういう“メデイア”なんですよ。

意識とかこころ、たましいとか霊というと自分でも胡散臭い言い方になるかなと感るので改めて言うのとメデイア、という言い方ですね。

金じゃいくらはたいでも買えやしないものがある。

インスピレーションやアイデアも靈感とむかしのひとは言いましたね、

これも降りてくるのはお金ではない。

むしろ巫女さんなど、穢れとってそういうものを意識したとたんに

能力が削がれたりしちゃう。みなさんが見る興行作品だって幅広く言えば

同じです。その分野はまた複雑なのでしようが

意地の悪い話だとアイデアを受けた人を金で買収できはするかもしれませんが、やはり行き着く先は発想力の問題であって、個人にクローズアップされる。

そしてそういう人々自身もお金を払ったから発明できたわけじゃない。

どうやってあがいてもアイデア自体は買えません。

そこから縁遠い場所よりすべては産まれる

アイデアの逆転で企業や産業、流通のあり方だって

一八〇度変わることもあるものです。

魂の時代ですよ——人をこれから変えて行くのはね。

新しい時代の価値は貨幣ではなく、意識の質だ、ということなんです。

ここがぜんぶ重要。

このくだりを読むだけで本書の全部が理解できたとおもってもらいたい笑

ITメディアの先端のひとびとは、次はこれが来ると意識してもらいたいんです。
あとはおまけのようなものです。



ニューブランドの意識革命論

新しい精神世紀、その第一章のはじまりです

さまざまな論じられ方がしてきたように感じますが本書のすべてのテーマ。

未来の理想社会がはじまろうとしています。

被害にあった人々には口が裂けてもいえませんが、震災が起こった背景には、

人間を大きな視点で捉えたところにある精神意識の低迷にあると私は感じています
それがめぐってきている。

未来への声なき進花の声――

人生のすべてをかけて、私もこれから未来が

どのようなにして改革されてゆくのか、これまで体感した出来事と

授かった啓示たちより予測した事実、

本書において正直なメッセージを書き残すことにしましょう。

まず日本を中心点として、国内や世界でおこった意識変化のサイン

①幸せの国ブータンの国王らが来訪し、話題となったこと

世界が注目を向けた中でひととき目立っていたブータンという国

ワンチュク国王らの品行方正なお姿と、だれも国民皆が自分たちの生活に何を持っておらずとも満足している、という部分。

これについては現代の日本にはありません。対極的であり、ある意味日本的。なぜなら今の日本人は、精神的飢餓感を根底に持っているからです。

しあわせの国ブータン。彼らにわれわれが最も欠落してしまったことをわたしたち日本人全体が心底見せ付けられ、これからどのようなようにして新しい世界を創造してゆかねばならないのかという再構築されたモデルをその良い見本として強烈に教えてくれたような気がしてなりません。

②男の娘ブームの裏にあるサイン

意外にあれば驚きでした。オネエタレントとよばれる人々はこれまで数多くいましたが異性装をファッション化させたというムーブメント、それが陰日向にならないでそういうものとして受け入れられ始めている、じつは人類の文化の進歩過程で顕著に見られています。

しかし今度はそれが自分のジェンダーに関係しない異性装のための異性装、これはとても古くからのスピリチュアル的斬新な意味を持っている。

と私は注目してしまっただけです。記事を書いている途中知識として彼らがあつまるカフェもニュータイプという名前だったことも知ってストレートに驚きました。

そもそもその存在自体は今の時代の新しいものではなく百年以上前から預言者などで変性女子（へんじょうようによし）といわれている存在、

異性装をやった人もいたのだそうです。

男性として、というところがポイントなのです。

やはり当時その行動を失笑する人は数多くいたようですが

昨今メディアで話題になっている男の娘も男性なのにファッションが女性。

別の人間になり魔よけをするという意味や、無いものを補い新しい自分に目覚め
帰結してゆくプロセスは靈妙、時代そのものが変身しようと生まれ変わる

革新的な出来事だと感じました。人類史を読み解く中でも

“これは一般的な人々の意識が大きく変わらなければ見られない
実はとても大きな裏のサインなんじゃないか。”

両性具有の神話は古代からも描かれてきましたがこういう変化を筆頭に

これからの世界のエネルギーの流れは確実に変わってゆくでしょう。

③○○系男子の増加

草食系男子などもそうです。競争的な肉食人類だけではなく

自分の好きなことに没頭できるこういうタイプの人類の出現は

私たちを向上させる必要な役割なのではないでしょうか。

それまで肉食系、外交的なタイプばかりが良いものといわれ続けてきただけの時代からひたむきで個性的インテリジェンスの輝く未来人たちが

もてはやされるようになったのです。

仕事のことしか考えられない仙人系男子、というのも流行っているそうです
更なる上手の人種です。わたしはそっちなかな、それより上か？笑

草食系だから嫌いとか好きとか、スポーツ万能の草食系もいますしね
何々系だから、とレッテルを貼り、恥じてしまうことはないと思います。

なんにせよ文科系に方向性が向くことはいいことです。

人類には母性原理が必要、ともいいますね。

肉食的で男性的な原理があまりに世界に働けば、

世界は競争の原理に囚われてしまいます。

そのせいでこれまでの時代あらゆる闘争的な事柄が起こってきたといつても

いささか過言とはいえないと思います。陰陽のバランスをはかり

対外面や国際面では母性的に多くを海のように受け入れて

イメージで槍や矛などにたとえられる元気溢れる男性原理は

内に秘めた自分との闘いや仕事のと時の上昇志向などを中心として

必要に応じて積極的に使えばいいのかもしれない。

④スピリチュアルブーム

これはもう二千年代前半からのブームのように思います。

パワーストーンなど以外でも神棚など、さまざまな古くからの文化がいま若い人を中心に関心を浴びて注目されています。

これは素晴らしい兆候です。若者に回帰志向の純粋な人々が増えてきたということかもしれません。スピリチュアルの祭典、癒しフェアなどはびつくりするほどの来場者数。仏女、仏像ガールというのもそう。

巷でも知識は出回るようになりスピリチュアルと名が付くものたちがたくさん。ただ、それだけ危険なポイントとして偽者も跋扈するということ。

ただ最近正直な感想としてわたしがおもうのは

これまでの恐怖をあおる依存的な占い心霊などのオカルトブームと

比較にならないほどいい方向に開けている。数多くヒーラーやセラピスト、
占い師やカウンセラーはその数は爆発的に増えましたが、協力者や私も活動当
初思っていたよりも、心底たましいを求める声が多かったこと、
まず最初に慎重に疑ってかかるくらいのつもりならば「別にいいんじゃないか？」
って意見です。それだけ相談者たちでさえも自分で悩みぬいて

自力で答えを探そうとしているのが市場に反映されているということではないか。
ということと、一昔前までカウンセラーとかいうとすぐに精神がおかしくなった
とか異常とか思われがちでした。昔はメデИАが閉鎖的で

情報もアナログだったこともあり、霊の因縁だとかなんとか縁もゆかりもない
間違った知識ばかりを吹聴する心靈主義者も多かったものでしょう。
わたしは霊障、ということばがきらいなんです。

霊とは人間のことです。妖怪ではありません。

それも心が美しくなるために起こった必然、きつかけだと思ふのです

霊のせいにして自分の現実を見ない、何か悪さをするとしようというような言い方はちよつと古い価値観です。霊障という言葉が存在するならば

対人関係のトラブルに置き換えて考えたらどうでしょうか。それも人障、です。そこで何か間違つたことはすべて相手のせいにはしていないでしょうか。

霊も人間の意識エネルギーなので同じこと。本書でもお伝えしているとおり、自分で責任を持ち生きていくための方便と考えるならば、

その手段としての眼に見えざるものへの関心がブームとなったことははなから存在が否定されるより次世代へのステップとして

“飛躍的な前進”と捉えて良いことだろうと思ふのです。

一昔前までこういう話になると「気持ちが悪い、キワモノ」そうやって迫害を受けるがゆえに自分の体験を打ち明けられない人々や

能力に苦しめられてしまうというような人というのは大勢いたでしょうね。

スピリチュアルブームも素晴らしいのですが、

しかし、そこにとどまるなかれと私はいつも言っていて、感じているのです。

スピリチュアルブームだけに終わらないように現実精神時代のために。

自分オリジナルのスパイスを加味した精神志向に昇花して行ってください。と

それらのことしつかり学んで、自分の学びのうえに独自の哲学や生き方を

付け加えるなりして改修しあなた自身という人間としての人生訓にしてください。

スピリチュアルブームはこれからの世界を創る上で敷かれた宇宙が用意した

“新しいこころの時代”のためのステップのひとつなのです。

そしてまた別に、「これからの世に宗教の縛りはいらなくなる」と思っています。

語弊を恐れず言えば宇宙の意思は、宗教という概念をなくす目的で計画的に
これまでの宗教をつくってきたのではないか、

とはつきりいうと感じさせられることがあるのです。

昔の人々では無知な分どうしてもきわどくグループ化したりわかりやすく

図式化したり言葉や絵にして纏め上げていけばみんなわからなかった

一昔前までスピリチュアルな法則を紹介しようとしてもだれも耳を貸さなかった
でしょう。いまではあまりみられませんがスピリチュアリズムが起こった当時、

眼に見える現象やサイキックレヴェルの物理現象が

昔の時代は多く起こっていたのもそうでないとみんな調べよう、耳を貸そう、
疑問を持つとうとさえ出来なかったからという霊界の意図なのではと感じます

事実こころの勉強をする時代が今なんです。自分たちで実践して、やってみる。

生き方に触れてゆくための“新しいこころの時代が来る！”

私がやっていることはその感性のためであり

その世界観のために活動させられている道具なのです。

いままでは霊が見えるとか、超能力でどうとかこうとか

そういう眼に見えるだけのものたちばかりメディアでも取り上げられてきたけど、

それはそこまでで止まってしまっただけはサーカスに同じです。

それだけじゃダメだと思うんです！それを知って勉強した上で、

疑問と振り返る時間を繰り返そう。幸せになるためには、どうすればよいのか？

これを勉強していこうとする人々が驚くほどに少ないのではと感じるの。

興味を持っていてくれるところまでできているからこそ生活に使用して欲しい

それがスピリチュアルやこころと触れあえる、

私が伝えたくて届けねばならぬと思っっているそんな一番のテーマなのです。

神様の存在についても同じです。わたしは神様とは言わずに

宇宙のエネルギー、という言い方で表現しています。

そのほうがありのままに基づいたそのままの表現だとおもっているからです。

これなら科学者だって理解してくれると思います

昔の場合なんて得に内容はまったく同じだけど宇宙のエネルギーを

大日如来、天照大神といったほうがわかりやすかったのです

でもそうなるとう如来のファンや天照さんの熱狂的な信者で抗争が起こるわけです。

私が仲いいのは“宗教を信じてるけど、自分は自分、人は人で

ハートが大事と思ってる方々” いわば穏健派の人格的で素晴らしい人々。

なんでもそうですが食事の席であまりこういう話題は慎むべきですね
実際ほんものの宗教的指導者の多くは自分に厳しくとも周囲の人には
縛りを持たずあらゆる価値観、多様性を愛される柔軟な人々が多いです。
いままではどうしてもそれまでの宗教者のいうトークでないとい

“このころの話”は伝わりづらかった。しかし現代ではそんなことはもうありません。
“このころは、人間の常識のはずー。”

イエスキリストが糾弾されたのも、旧体制の宗教からでした。

でもいまとなつてはイエスの教えが主軸となり、

それについてあらゆる派閥が分かれて論争や争いが繰り広げられることも。

イエスが生きていた時代と現代はどれだけ変わったかということですが。

私の見解としては上昇はしているのでしょうか

やはり、人間は変わらないよなあ。というところでは。

そういうふうには歴史が実証していて、まず宗教だけで世界をまとめようとするればほかの思想などを認めたがらない頭が固い人が大量生産される恐れがありますし、宗派の違いで戦争なんてごまんと起こります。

わたしもそういつた何らかの関係者かなどと誤解されたくないですし、いろいろ揉め事に巻き込まれて人々に批判されるのも迷惑です汗

宗教の型枠こそなくなれば世の中が平和になるのにな、と考えたほどにそれこそ方便だな。と捉えていただければよいのです

あなた自身が宗教にはいつても、そこから人生道を学べていれば良い人として立派なら、どこで何をやっていても良い――

それは人々のライフスタイルなはずだから

だからこそ、宗派でも政党でもグループでも“対立というのをなくしましょう”あたりまえですが当然なことです。

私自身群れて騒ぐのが嫌いで孤高が好きなのもそういう理由からです。

ただ言えるのは私がこの本で発言している

これから来る“新しい精神中心の時代”が到来すれば、

すべてを肯定して、すべての括りがいらなくなります。

否定はしません。根本にある想いや人生道は同じだと思います。

だからそれは自由な人それぞれの生き方なのです。

今まで信じていた人は、まったく完全にそれでいいです。

どうやって生きてゆくべきか、そこにどうやって触れていくべきか

統括されてゆく空気と同じ完全な英知と真理、科学技術やライフスタイルが

わたしたちを動かすキーエネルギーとなるのです

スピリチュアリズムも人々が集まるところは似たようなもんで何でも

やはり宗教と誤解されたりそこに水溜りができて泥沼化して崩壊するかもしれない
もしかすると、それが新たな名前のものになるかもしれない。

でもそれはどんなに立派であろうが、結局ただの名前でしかないのです。

仏陀も色即是空といいました。本当に大事なものは表面的なとらわれゴトに非ず。
心に留めておいて欲しいのは、私たちが、永遠の意識(こころ)という
宇宙の存在なのだということ。

わたしたちは、意識メディアという物質世界を超越した
ほんとうのエネルギー体。

光さえも超えたところにある、無限のパワーなのです。

ピンとこなくとも、聞き伝えレヴェルで良いから頭に入れておいてください。
いづれわかる日がやってくるから

わたしたちはこの宇宙を構成するエネルギーであり、魂の存在だということ
それだけがほんとうのことであり、

これはあなたが敵対意識を出して否定しても

味方意識を出して肯定しても、事実であり現実で、

変わることはないからです

そう想っているのもあなたの意識がそうさせているのであり、

これから外れるものは存在しません。

スピリチュアリズムさえ超えて、本当の新しい時代の“愛”の概念を知っていく
時間がスタートします

新しい学問

新しい政治

新しい芸術

新しい教育

新しい医療

新しいコミュニケーションのスタイル

さまざまな“新しいものたち”がこの国日本より産まれてゆきます

万人が才能を開花させ、それまでの恐れを手放し自分の人生から脱皮して超越し、自分に世界は変えられるのだという気づきのきっかけが宿っている種子(しゅし)を育て始め、みんな意識で交流してプラグをつなげいっせいに花開き天才化する

ことにより、宇宙のプラス(善)のエネルギーそのものとおなじ

人に尽くせる人々がたくさん出てきて新しい発想をして

豊かに生きてゆくことで、世界は“新しいころの時代”になってゆく。

“他人の想いや痛みを分かち合える新しい世界の間になれる” ということ
そこから未来へのゲートが開けて、人類は意識開花してゆける、とも。

開花、といって花になぞらえて紹介するのもこれはつぼみをつけて

植物が開花するサイクルが、“これからはじまる精神的進化と同じだ”ということ
すべての大法則や原理にはそういう仕組みが働いているという、

宇宙の意識が私に告げたひとつのインスピレーション(わけ)からです

それを実現して大開花して、自分たちの一生を変えてゆくために私たちが
できることは、自分の想いでたましい中心の方角へところへと向けること
耳を済ませることなのです。この本を読むあなたもそうなります。

これからみなさんが自分を変えたい、変革させたい、

人類はこれからどうなるのだろう。気になる方々がいれば

自分のこれまでの人生と瞬間の心をじつと直視してください。

少なくともいえることは、あなたがそうやって向上したいと願ったことは

全体的な宇宙の進化、始まりの一步と同じであるということです。

全部がそこから変わります。先ほどもいいましたが、意識より世界を変えてゆく

必要性があるのです。意識が変わるということは一步を踏み出すことに同じ。

時空間や物質的なものも変わるということ。精神に人々の心の目が

向いたということは時代ももう新領域へと確実性に突入している。

若者たちのカルチャー―日本独自の自然回帰やテクノロジーの発達

ゆとりの世代といわれた人々にも、まだ見ぬその可能性があると予見できます

古い考えは刷新されるべきです。そして二極化ももう古い。

スーパーに買い物へ行く日常的な人間であり凡人だけど、買い物中に

ビジネスの斬新な発明をするセンチティブな自由な部分も持っている超人

これからは皆がそうになれる。なろうとおもえるか、どうか。歩き出すんです！

真のライフスタイルそのものにぶつかり、自己実践のみんなが自分らしく

個人どうしの手で生きてゆく精神主体の時代です。

だからこそこの大開花プランを皆さんにお届けして

みなさんを新たな時代の自信に満ち満ちた真実のリーダーにしていくことが、

僭越ながらも私の役目だな。と心得て活動しております。

“あなたがこれからの世界のリーダーです。”

それをこのころにおいてこれからも生きていってください。

本書をここまで読むことが出来たあなたはどこの世界でも理解され、通用します。

この個性極まりない新人類が保障するのでだいじょうぶ笑

もう恐れるものはどこにもありません。

皆さんの奥底にサイキックな力は宿っているのです。

交流が開けITが発達したいまだからこそ、

あらゆる方法でみんなが一丸となつて、

その巨大なプラスのエネルギーを集合させて、

いろんな場面より繋がりがあつて、すべてを切り拓くときだとおもいます。

わたしたちが今ここに立っていられるのは、霊界も含め多くの人々の

“想い”のパワーが深く関係しているのでは、と

おもわされたりするシーンが多くあります。インターネットのメール便とおなじ、それ以上の速度で世界全体に届くのが“イメージの力”です。

虫の知らせも同じです。この現代でさえも誰かの幸せを祈るたましい、

愛のエネルギーが物質を超えて世界を救うこと、

自分の人生を感動させて、いつでも変えてきたことは、リアル（現実）だと感じているのです。人間の真心がすべてを溶かして、変えてゆくー
そんな真実が存在することを、わたしたちはいつでもわすれずに信じて護り、歩いていきたいものですよね。

きつとどんなに強い霊能力を持った能力者であっても、人間の奥底に眠る誰かの幸せを願う“愛の魔法”にはかなわないー。

わたしたちの本当の力はじつはこの大宇宙がお与えになった、はかりしれない巨大なもののためにあると想わされる瞬間があるのです。

いま、あなたがここで笑って、生きていてくれることが震災以降この瞬間を噛み締めるわたしたちにとって大きな希望だと想います。

霊界もそれを望んでいます

アセンションとは、そんなみんなの笑顔のつぼみが花開き、前向きに行動型へ開花されてゆくべき世界なのだと感じてる

たましいとは、肉体のどこかにあるのではなく

あなたの中心線とシンクロする、この宇宙そのものなのかもしれない

誰かの喜びをイメージして生きるとき、自分自身が計り知れない

大きなエネルギーであり

おおきな、おおきな存在（大我）だったのだと私たちは思い出すのです。

そうです。“人に与えていきたい”とイメージするだけで、すべてが変わります。

誰よりも本当の幸せを生きてゆくことができる。

数多くの成功を手に入れ

幸せを感じて自分の大宇宙を歩き出してゆくことが可能となります。

わたしたちのサイキックな力が世界を照らし、変えてゆくでしょう。

あなたのことを世界で誰よりも大切に感じてる

ほんとうに届けたいものがある

あなたは奇跡です。あなたの内側には多くの人々の愛が詰め込まれている道に迷いそうなとき、そのこたえをもう一度選んでください。

「あなたのすべてはやさしさなのです」

誰かの幸せを願うイメージ力がひらくあらたな幸せを、

どうか体感していつってください

それはみんなができる“あなたにしか歩めない人生”です。

人類は意識のメディアなるものを発達させてゆくことで進化してゆく精神性を向上させるためにこの地上が生まれました。

昨今のスピリチュアルブームはそれを今一度思い起こさせる

すばらしい契機だったように思うのです。デジタルメディアが世界を変革させる。

霊界という場所はいたって自由。そもそも意識のエネルギー体のみの身体になって、自分たちの意識が生きてる世界を作り出します。

霊というのは怖いものじゃなく、さきほども紹介したとおり

霊とは古い言い方であり、すなわち意識メディアのことです。

わたしたちが人生を終えた後は、意識情報になるんです。それは自由な世界です。

あなた自身の今この本を手にとって感じてもらっている想い、

それだけの存在になり生活しなければいけないということなの。

そう考えれば何も怖くないでしょう？みんなホラー映画とかの見すぎです。

肉体は滅びてもたましいはデジタルを超えた意識という実態、本体なので自分たちの本来の姿に戻る脱皮状態のことを私たちは死と呼んでいる。

だからほんとうの死つてものはないんです。永遠に生きるしかないんです

死ぬことへの恐怖もそんな“あなたの意識”であって

こわいこわい、といつても死んだら肉体を脱ぐだけで、

怖がっているあなたは自身は何も変わりません。

むしろより強烈にあなたのありのままが強調されます

ちなみに私が前世どういいう人生を送ったか詳しいまではわかりませんが、聞いたところによるとなんの変鉄もない江戸時代の女性だったそうです。

安心するよね。そう言われると。いま大開花しちゃってる笑

インターネットは電子情報媒体です。たましいも、

光より早い光子や電子より細かいミクロを越えた精神という粒子。

だから瞬間移動で情報をやりとりでき、情報を書籍などのように蓄積できかつテレビのように発信でき、恋のようにコンタクトができるデジタルは

使う人の心次第ではいい方向に傾くきわめてスピリチュアルな媒体だとおもいます。デジタルメディアにしてもさらなる進化と向上を見せて

無機質なものではなく人間の温かみある意識交流の世界に背中を後押ししてくれる学びの場にレヴェルアップしていつてくれるのではないかと読んでいるのです。生き方が自然に還り、エコロジーが世界の中心となり

ITメディアが善意のたましいたちによってフル活用され

素晴らしい意識エネルギーが宇宙や地球上を取り囲み、

やがて世界全体が改革されて新たな価値観や自由な制度が完成し

究極として“意識（マインド）メディア”なる真交流媒体なる進化バージョンが登場してくる頃には世界はかならずや変わるでしょう。

その姿は人類がはじまった瞬間と強烈に酷似しています

猿が人類に進化したとき、人類史では解き明かせない

超常的な突然変異がおこったのではないかといわれているのだそうです。

その超常的な物事の変化とは——こたえはどうかやら宇宙にあるようなんですね。

宇宙から与えられる新時代を大開花させる“天術”

刻一刻と始まっている意識改革の波。私たち人間社会へつたえるメッセージ、

すべてを変え、時代を目覚めさせあなたを新しい未来の人類として生きさせてゆく

可能性が“いま”はじまっています——

いま、試されているのは私たち一人一人の

人間性であり、意識力。すなわち人間力です

これからの世の中を変えてゆくためには

善意ある人間が、積極的にお互いの長所を愛して認め合っていかななくてはいけない

恥ずかしがらずに、さらけ出して生きるのです

年齢や肩書き性別みんな関係ありません。自分という人生を生ききったとき

世界の人々が皆目覚めてプチ天才化していくんです。

子供はみな天才だと私は思います

大人になってもそういう変わらないあなた自身のバイタリティーを

この本が出版されたくに日本や世界各地でも

だれひとり抜け出ることなく体感して人生の“現実的な幸せ”とすることができる

みんなが“必要”な存在なのです。いま“このときだからです”

あなたたちは奇跡の宝物なのであり

すべてのひとびとが無くてはならない財産なのだという誇りと

生きていることに対する安心感と自戒を持ってこれから “創ってゆこう。”

あなたたちはいまから今から光り輝いてゆかなくては

いけない人々です。わたしも思った

いまここからみんなで新しいゼロ年を

“耕し始めてゆかなくては、いけないのだ” ということも

新しい時代のひとづくり文化づくり

まっさらで頑強この上なさ過ぎる

日本そして世界をつくって 地球を “人の世” をはじめてゆこう

これからは今までの既成意識が一切通用しない世の中になってきます

あなたがどんな人生を送り、どれだけその奥に内秘めた人間力や潜在能力を
花開かせるかで人類の未来も同じく創造されてゆくのです
すべては託されていることを感じて欲しい。

世界が新たにアセンションして変化してゆくとき

どんなあなたでいたいですか？

いまどんな夢を叶えたいですか

どこへ行きたいでしょうか

あなたの内側が命ずるままにあなた自身を咲かせてください

世界は大きく変革を魅せ始めました――！

その変革を、大開花という――！

みんなでたちあがり、やっつてゆきましよう
はじめてゆきましよう。

あなたの人生が大開花します！

みんなでひとつとなつて

新しいところの時代を大開花させる！

みんなへ
大開花
さす
みんな